

LUCKY SEVEN

～合言葉は「静と動」～



習慣が変われば運命が変わる

2学期が始まり早くも10日が経ちました。夏休みの課題や、課題テストが手元に返ってきてているころだと思いますがいいスタートを切ることができたでしょうか。できたという人も、できなかつたという人も長い2学期を有意義にするためにもこれからの行動が大切です。朝は決まった時間に早く起きることができますか？家に帰って宿題、復習をする時間を作ることができますか？そういった習慣を味方につけることができれば、本当に強い人間になることができます。スポーツなどでも同じことが言えますね。

「習慣が変われば、運命が変わる。」と校長先生がお話しされていたように、この2学期初めに改めて良い習慣を身につけていきましょう。

小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています。

— イチロー

大阪880万人避難訓練

9月1日、大阪府で大地震とその後の大津波を想定した一斉訓練が行われました。家族ともしっかりと話し合うことはできたでしょうか？

10年前の2011年3月11日、東北地方に大地震と大津波が襲いました。東日本大震災と呼ばれています。死者・行方不明者は2万人以上にのぼります。多くの犠牲者が出了中で、岩手県釜石市では、小中学校に通う子どもたちほぼ全員が避難し、津波を逃れました。人口約4万人の釜石市内で、1000人を超える死者・行方不明者がいる一方、小中学生の99.8%が無事だったという事実は、「釜石の奇跡」と呼ばされました。しかし、当時逃げ切った小中学生たちはこう言いました。「奇跡なんかじゃない。私たちは避難訓練をしていたから。」と。東日本大震災ではハザードマップでは危険区域外の場所にも津波がやってきました。想定外のことが起こりえるのが自然災害です。釜石市では「想定にとらわれてはいけない」「最善を尽くさなくてはならない」「率先して避難しましょう」という“命を守る”避難訓練に日頃から取り組んでいました。避難訓練で命が救えるのです。

この夏の間にも、各地で集中豪雨や台風といった自然災害による被害が起きています。避難訓練は自分たちの命を守るためにするものだという、一人ひとりの意識がとても大切です。防災や災害に対する情報を正しく理解し、自分たちの“命を守る”ために、防災の知識を身につけて必要な備えをしておきましょう。